夕刊

一月七日發行

定價（郵税共）一部金六拾五錢　一ケ月金六拾錢

廣告料　一段金壱圓　二段金壱圓五拾錢　三段金弐圓　四段金弐圓五拾錢　五段金三圓　六段金三圓五拾錢

發行所　磐城新聞社（磐城郡平町大字平字田町十六番地）

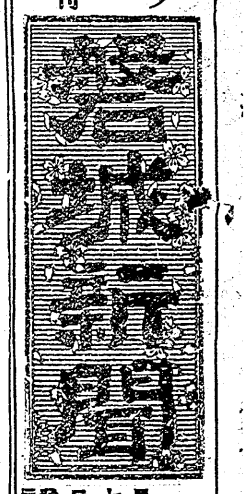
編輯兼發行人　柏木平太郎

印刷人　田中文二郎（磐城郡平町大字平字田町十六番地）

社長室電話（本社）平五百五十八番　編輯室電話（本社）平五百五十八番

毎日曜祭日翌日休刊

東京販賣所　一〇六・五八五番



天氣豫報

小名浜測候所觀測

今晩も明日も北西の風晴

鳥取遊記（三）

島田忠夫

○酒と蟹

鳥取でうまいのは、先づ酒である。酒は灘のも來る西灘のも來る。全く鳥取ばかりでなく、關西で飲む『白鹿』でも『白鷹』でも東京あたりのとは、まるで味がちがふ。

所が、鳥取のは、土地の酒もよい。尤も平あたりでも、下手に『下り』ものを飲むより、近郷の檢査の酒の方が、よつぽどうまいに相違ない。

×

酒の次ぎに鳥取でうまいのは裏日本特有の蟹だ。東京人は大森の蟹だの、品川の蟹だのと云ふ。澤田屋がどうの、こうのと云ふが、日本海のかにには敵はない。大きな、一尺位あるかにであるが、冬の初めから、少ツと味がよくなる。

この蟹と酒があつては、何も外のものは要らなくなる。

×

鳥取では、一流の料亭炭酸温泉でも、杓子家でも、湯治でも、このかにを食べた。三朝温泉でも喰べた。どこのもうまかつたが、取わけ德田邸で料理したものが美味であつた。

×

鰻も鳥取の名物と云ふ。東郷湖とかいるもので、東郷温泉で食はせる。うまいが、少し大きすぎるに、味が濃い。之れは竹葉亭あたりの方が、アッサリしてうまい。

×

公魚もとれる。湖山池にもあると云ふ。鳥取の某所でその天ぷらを食べたが、實にうまかつた。所で、漬物になるときづい。東北のやうな生鮮な漬物に乏しい。それから、鰹なども、磐城地方のやうなのは食へぬらしい。私は、高久病院の厄介になつて、よく『火やま』の鰹のさし身を食べるか、あれは日本一だ。この

金華山參拜

佐々木顯

○燦々とこがねがしまのいただきに　かがやふ初陽おろがみにけり

次男入營

○朝の雪の清しきを踏みて營門に　吾子を見送り光榮におもふ

むつた許りか、結構な茶室がある。

『クヽヽヽヽカツヽヽヽヽ』

裏口を跨いだ軒下の處に鷄小屋があつた。夢を破られた鷄どもは、聲を競つて騷ぎ出した、羽叩きも交つて可なり騷々しい。

けいの助は、はつとした

『駒路殿々々』

彼は小聲で呼んだ。

『はい』

と、喜びに滿ちた駒路の聲が、闇の中から近づいて來た。

彼女もすつかり、身支度が出來てゐる、

一刻一秒を爭ふ危急の場合。

『兄上』

『妹』

ともも。

ともも、悠々名乘り合つて居る遑は無論無い。

そんな暇に、少しでも遠く、この場から脱れ去らねばならなかつた。

『さあ、兄上を伴れて一と足先へ抽者は直ぐに追つくから』

俊作は、けい之助の背から駒路の肩へと移つた

その駒路は、兄を扶けながら、さがて闇の中へ姿を沒した。

宿に殘つた浪士の一人が女中の部屋へ遊びに行つてこつそりと、座敷へ歸らうとすると、裏口の方で、けたたましい鷄の聲がした。

『鷄泥棒か、それとも狐でもやつて來たか――』

と、思ひながら、室まで行かず、すぐ廊下から庭へ下りてみると、微に明りが射して、裏口が開いて居るいよ〳〵怪しみながら、やがて裏口から半身を乘り出した。

闇を透かすと、二間ほど先に、黑い物が在る。確に人の姿である。

『誰だ？』

咎めたが返辭が無い。正せばいいのに、裏口を跨いで、のこ〳〵近づいて來たが、不覺にも、寢卷に細帶姿の、身に寸鐵も帶びない丸腰であつた。

と、その油斷の鼻先へ。

『わいつ！』

氣合諸とも、圭之助が手鑓をこめた切先下りの一擊身をかはす間もあらばこそ件の寢卷浪士、右の肩から斜に、咽喉輪を深く斬り込まれ、

『わつ』

と一ト聲。バッタリ前のめりに倒れた。

同時に家の中では、バタ〳〵と廊下を踏む慌たゞしい足音がひびいた。

血刀を提げたまゝ闇の中を、振り向きもせず圭之助駒路の後を追ひかけた。

× × ×

肝臓の俊作は盗まれてしまうし、浪士の一人は寢卷のまんま、裏口に斬り倒されてゐる。旅籠屋永樂屋では、眞夜中の夢を破られて忽ち、上を下への大騒動となつた。

が、それはもう時遲れであつた。その頃圭之助、駒路等は、俊作を扶け、府中程に當る、一里山村の地先に、セッセと夜駕籠を走らせ居た。

呈小野幹事長

珠雲　小野務平（其の一）

鄭通自在築如雲
滿腔經綸夙作動
衆望一歸當重任
肅清政界有斯君

講談

隱密小天狗

中川雨之氏作　近藤鐵氏畫

(205)

時節到來

戸を開けると、外は、この旅籠の横手の小徑で、雜草また書家として訪れた。その彼方は、廣い畑つゞきでたゞもろこしの葉が、がさ〳〵と夜風に鳴つてゐた。

その暗の中に、遙〳〵人影とは駒路であつた。

彼女は成功を祈りながら、けい之助の現はれるのを今か〳〵と待つて居たのであ

第一線の慰問品ニハ

見不知羊羹と潮の華

平市五丁目　泉屋菓子店　電話六六八

お醬油は……ヤマフル

醤屋　山崎合名會社

味噌醤油　たひら正宗　鰹節　食料品

福島縣平市

電話（營業部一〇番）（本店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

ラヂオの故障は――放送局指定相談所へ

御買求めは……

測定裝置　技術　完備の弊店へ

日本放送協會指定

ラヂオ相談所

HK型受信機配給所

富永ラヂオ店

平驛前　電話四九六番

メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さら……

平市本町二丁目　玉屋

生花教授

池ノ坊　生花を懇切丁寧に御教授いたします。お遊びがてら御出で下さい。

平市四丁目和泉屋旅館

須藤まつの

▼……出前迅速

御料理　むぎとろ

是非！御試食下さい

平市田町紅小路

さつき

電話四八八番

故障の起らぬ

原口のラヂオ

擧つて國防…揃つてラヂオ

ラヂオは是非――

專門店……へ

原口無線電機株式會社代理店

古山電氣商會

平市二丁目（警察署通り）

電話（呼出）166

磐城の御みやげ品

名物　靈峰羊かん（名産柿煉）

姉妹品

磐城耶馬溪……美山羊羹

同七濱……のり羊羹

同豐間……辨天羊羹

◎各種一本十錢

製造發賣元　小川郷驛前　平屋賣店

銃後の皆樣におすゝめする

（糸イラズ）

綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れたる足袋、靴下メリヤス、ジャケツ、其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひろく國家の經濟は莫大なものとなりませう。男子の方や御子樣方でも容易に修繕出來まして糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい。

（定價二十錢　三十錢）

平市古鍛冶町一〇（縣社下）

阿康藥局

電話四四番

振替東京三〇〇六五番

眼科一般眼鏡檢定

重田眼科

平驛前通り　元貯蓄銀行跡

醫師　重田景治

平市田町一番地

皮膚科　泌尿器科　性病科　專門

診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ

平市田町

江尻醫院

電話六九一

醫學博士　江尻伊三郎

入院隨意

新車のお知らせ

斷然!!!乘心地良い!!!

三七年型フォード

入車いたしました。

是非！御試乘の程を！

市内四丁目

スヾキタクシー

電二一七番

◆内科、小兒科　院長　前田清美

◆外科（内臓外科、花柳病科）

◆産婦人科　副院長　幸恒足

◆耳鼻咽喉科　副院長　兒玉秀純

X光線科

（手術室入院室完備）

前田醫院

植田町本町　電話一二四番

旅館　大幸館

東京上野驛前

下谷郵便局横通（角）

電話下谷局六七七番

私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります

主人　比佐棟雄

外科、内臓外科

エツキス光線科

新設　産婦人科

院長　安齊徹

醫學士　黑澤廣

平市田町

入院隨意　安齊醫院

電話四七五番

醫學士　吉田久雄

吉田眼科醫院

平市紺屋町　電話六八番

六百年記念事業に
奉安殿新築決定
震害で工を急ぐ江名校

縣教育會市、郡兩部會所屬各小學校に於ける皇紀二千六百年の記念事業は過般來夫々計畫が進められてゐるが國民思想の善導上皇室尊崇が一段强調されてゐる時局柄奉安殿の新築が各所に設計されてゐる中にも過般の地震で最も大なる損害を被り建物の歪曲から御開扉申し上ぐる事の困難に立ち至る場合を恐懼の餘り、振旗校長が郷社諏訪神社の奥殿に奉遷申し上げた程の江名小學校では此程の町會に於て六百年記念事業として早速新築する事を決議の上地方各學校に於ける設計の長所を參酌する爲既に各方面の視察を遂げ三千圓の工費を以て愈よ近く起工の筈であると

飼料講習會
平陽女學校で

平市では十四、五の兩日午前九時から午後四時迄市内平陽女學校に飼料講習會を開く、講師科目左の如く一般の聽講を歡迎する

△飼料の配合調理—東京帝國大學農學部助教授農學博士佐々木林治郎△飼料作物の栽培—盛岡高等農林學校助教授安川傳朗

どう落着くか？
日立營收附加稅問題
更に慎重協議

既報、日立電力株式會社に解決方には幾ほ多少の曲折對する營業收益稅附加稅歩合については舊臘十二月中の關係町村の初會合を行つたが法規上の疑義から遂に歩合協定の速びに至らず湯本町が一石を投ずる等關係者からその成行を注視されてゐるがその第二回協議會を來る二十三日午前十時から平市會議事堂に開き愼重協議を重ねることゝなつたが新に内郷、龍田の兩村が加はつてゐることであり圓滿内を發した

傷病兵慰問
市議一行出發
三班の日程決定

昨報、平市會の戰傷病兵慰問團中東京方面擔當の第三班（野崎議長外）は今七日朝出發、飯坂仙台の第二班）關内市議外）は來る十五日頃、若松、村松方面の第一班（蓮沼副議長外）は十三日左記日程にて出發する事になつた

十三日
平發六時十二分　郡山着
九時二分　郡山發十時
若松着十一時五十二分
午後一時若松病院慰問

十四日
若松發七時廿二分　五泉着九時廿九分
五泉發九時四十三分＝十時廿二分　村松着
九時五十一分　十時廿六分　午前十一時村松病院慰問
村松發後一時二分＝三時十分　五泉着一時十分＝三時十六分
五泉發＝三時卅二分

漁船保險組合創立

縣下漁業家の福祉增進を目的として過般來創立の工作を進められてゐた縣漁船保險組合は愈よ來る十日午後一時から市公會堂に於て創立總會を催す事となり代表者水野小名濱漁業組合長から關係各方面に案内を發した

全く超現實的！な
卅七年振りの父子對面
新春の農村高久に感激の話題

高久村大字下高久字原居住佐藤徐惣次（六八）さんは二十年程前山形より前記に移住以來只管更生を目指して農事にいそしんでゐたが、若い時妻と別れた後之亦故あつて手放した長男喜治（當時七つ）が夢寐忘れず近來寄る年波に思ひはいやまさるばかりであつた一方殺はなくともすく〳〵と伸びて來た倅の喜治さんは、數奇な運命に操られ作ら今は四十三歳の男盛りとなり之亦然ゆるが如き思慕の念に驅られ、いまは顏さへ記憶にない肉親の父を憧れ求めて居たが最近ふとした處から親の在所が判り、此程遙々現住の東京から高久村へ辿りつき、一別以來實に三十七年振りと云ふ宛然たる天涯父一人子一人の世にも嬉しい對面に涙の抱擁が行はれ村人迄貰ひ泣きしたとの事である、父子相談の上今後は樂しい生活を送る事になる模樣である因に喜治さんは最初父から離れた幼年當時祖母の手で育てられたが種々の事情から青年時代に家出し新潟縣下で土工の群に入つて具さに辛酸を嘗めた上適齢前上京某鍛冶屋に勤める樣になり現在では本所某大鐵工場の支配人格に納まつてゐるが、今後に於て本縣沿岸に洄游する例年北方より移動し冬至前十三年度決算、役員改選を日午後三時から小學校で總會を開く

雜信
夏井村藤間では此程部落常會を開き

回の對面にも父が既に八十位の頽齢に及んで居るものと想像し、絶えて久しい老父を喜ばすべく飴玉その他土産の數々迄調へて來たとの事である

○

平市の海軍志願兵第一回豫備教育は十日午後一時から市會議事堂で行ふ

○

内郷村青年團宮分會では八日午後三時から小學校で總會を開く

○

平青年學校今年初の訓練は七日第一校庭で執行、二十二日査閲がある、夜學は九日から

○

市内各小學校では十日から三日間書初め展覽會を開く

代用品時代の寵兒
鮫が捕れる
時局柄急需を見越して
各濱に活氣湧く

あぶら鮫は角類鮫中經濟上最も重要なる立場に置かるるもの

植田、勿來、田人組合、内郷、湯本、永戸組合、小名濱、豊間、赤井の九ケ町村である、縣經濟更生課では今後これを全部指定することゝなり十四日平團体事務所に關係町村當事者を招いて協議する

向二十八日は十三年度の指定村を同所に集め計畫實行について種々指示する

郡下全部を理想郷に……
經濟更生指定協議會

郡下の經濟更生村は今や殆ど指定を受け何れも學村一致で理想郷の建設に邁進しつゝあるが未だ指定を受けぬものは

郡下の經濟更生村は今や殆ど指定を受け何れも學村一致で理想郷の建設に邁進しつゝあるが未だ指定を受けぬものは

我れには苦も無さ
鐵條網以上の妨げ
市内田町出身　伊藤眞一君（信）

拜啓時下年末多端の季寒氣の訪れも日增しに加はり凌ぎ惡しき昨今皆々樣には御變りも御座無く社業も御繁多の別無き事變下に緊多壹夜の別無き事變下に在る新聞業界の御苦勞銃後縣民への報告に能率の向上

陣中聽く
(310)

発展にと如何程か御忙がし迷べます。

小兵等も九江より揚子江南岸を西進しまして陽新縣入城しまして此の地に少進擊鐵山にて有名な所あの大冶の町へも入りましたが當の市街です金城より少し西進しまして揚子江岸へ出まして現在地に途中無事にて入城現在して居ります次第何とぞ他事乍ら御休ませ下さいます樣、では失礼乍ら次に近況を申し

鐵條網以上の妨げ

路は各橋梁は全部燒失又は爆破等にて迂回しては本道の前進も又時折樹合よりの射擊に會ひつつ道路面も又散兵壕にて抵抗線の如く追撃するには大の障碍物となるは又鐵道の線路を利用し縱に掘り込みて交通路を斷ち鐵條網を張り而し鐵路の障碍物は鐵條網以上ですがそんな物はなんのその突擊又は皆中國軍の軍材に使用されの殘材も數へ得る程の荒廢ぶり復興も又時今當時日子を要するでせうか其の地も又相當の市街です金城より少し西進しまして揚子江岸へ出まして現在地に途中無事にて入城現在して居ります次第何とぞ他事乍ら御休ませ下さいます樣、では失礼乍ら次に近況を申し

鐵條網以上の妨げ

路は各橋梁は全部燒失又は北方四五里の地點に位置し四圍は高い赤い山又山是が皆鐵の出る山かなあと礦山

平署犯罪送致減少

平署昨年中の犯罪

献金……

市内田町料亭末廣女將比佐年子さんは新年の手拭配りを節約、金二十圓を市役所を通じて献金

○

高久村厩婦馬場班では元日の夕從一時から班員一同が班長宅に集まり約三時間大綱をなし、賈つ金五圓二十五錢を國防費に献納

○

青沼市長歸邸　青沼平市長は正月休みを利用して二日以來大野村白岩礦泉に靜養中であつたが明八日歸邸

投槍
投書歡迎

斯くありたきもの

◇私は今年の初旅を須賀方面へ試み、バスや電車に乘つて、二つの深い印象を感じた。

◇その一つはバスガール平路商組合では最近地方巡ルの親切さ。流石は遊覽地だけあつて、車体も相當乘むものなら傍の若いものは直に席を譲つて自分は立つこの地方でも斯うした美しい情景は無いわけでも無い思ふ。（市内老婆生）

◇前者はこれを地方の女車掌殿に學ばしたい、たとへば平—湯本間乘合の如きも長橋、綴驛前、金坂方面、藤棚、入山前終點位に分けてその都度車掌殿が知らせてくれたら乘客はどんなに氣分がいゝだらう、後者は大衆の公德人に訴へるよう仕方がないし……お互のため考ふるべき事柄だと思ふ。（市内老婆生）

遺家族慰安
路商組合主催で
天勝一座公演

平路商組合では最近地方巡業中にある伊東一氏の天勝一座と契約し明八日より二日間昼正午、夜間五時の二回に亘つて市公會堂に應召軍人遺家族慰問の興行を公開する

出席者は組合管理者（夏井村長）をはじめ青沼市長（代理）常設委員、水利組合會議員、鎌田區長以下役員等であつた

三森翁墓前祭

愛谷江關係者列席

市内鎌田町延命地藏尊境内に眠る愛谷江筋開鑿の恩人三森治右衛門翁の事績は先年漸くあきらかにされてその墓所をも修理、昨年第一回の墓前祭を行つた地元鎌田町及び組合では命日たる今七日（舊十一月十七日）午前十時から第二回墓前祭を行つた

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
ニコ〳〵印高級ソロバン
ドンコ帳簿・ライカ帳簿
代理店　魁文堂
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツソリイニペン
ネラル・カーボン紙

▲一白　しよ事かいしんしてすゝむに吉性急なるは却て凶▲二黑　何となく不安心なる日相談事は避けられよ▲三碧　危險なる日しよ事注意してゆ斷あるべからず▲四綠　口は禍の門口論等をつゝしみ萬般に注意肝要也▲五黃　吉もなく不可もなき日心靜かなれば幸あり▲六白　移轉ありて心志定まらず家業に精出すに可▲七赤　此日金運あり出費等に注意し手堅く暮せよ▲八白　此日萬事に吉なりしよ事すゝみて凶事なきの日▲九紫　依頼心を去り自主の氣を專らにすべき日也

舊十月曜日　新一月
丙午　大安　執
一月九日　心宿日

▲一白　地の利なければ人和はあり、進みて吉なり▲二黑　家になやみあれども外にはのぶる日親んで吉なり▲三碧　早合點して災あうを招く恐あり注意肝要なり▲四綠　幸抱は其身立身の資何事もたい忍大切の日▲五黃　外に出でて人と爭論あり内に居るが安全也▲六白　家は身が本身は心が本心に徳を養へば末吉▲七赤　ふんこつさい身大に家業に出精するときは吉なり▲八白　運氣吉なり此日は諸事萬みて吉兆を得なり▲九紫　急いては事を仕損ずる日心靜かに暮されよ

新曜日　十一月
乙巳　佛滅
八日　定　房宿日

實用新案
第一八七四三〇號
意匠登錄
第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的なかまどは他にありません
安價な燃料で濟み、保温力が强く堅牢で火の元絶對安全！、御使用に御便利な！
石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。
平市五丁目
和洋銅物金物問屋
釜屋商店

謹啓六男忠一儀二十一歳豫而病氣中の處養生不相叶舊臘廿九日午後三時四十七分死去仕候に付此段本紙を以て御通知に代へ申候
追而葬儀は來る八日午後二時自宅出棺自性院に於て佛式に依り執行可仕尚は時局柄花輪御供物等一切御辭退申上候
昭和十四年一月六日
小名濱町
小野晋平

看護婦至急募集
（委細面談）
高柳醫院

難波醫院
内科
小兒科
入院應需
自炊の便あり
平市大町
電話五〇二番
（看護婦見習、看護婦募集）
醫學博士
難波睦

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
秤ノ取繕
垂糸・修繕致シマス・
開内藥局
電話四〇番

（病室完備）
（入院隨時）
根本産婦人科醫院
平市南町五二
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番

産婦人科
井坂醫院
平市田町　電五五九